

特別決議

非核・非同盟・平和・連帯の輪を大きく 広げる国際署名の成功をめざして

4月14日に熊本でおきた大地震は、死亡49人、関連死17人、行方不明1人の犠牲者を出し、その後大分などにも広がって、今も続く余震に家を追われた人々16,000人余が住む家の確保もままならず、不安な日々を送っています。各地で被災者への支援が取り組まれ、日本AALAも救援募金を呼びかけています。

今や地球は大地殻変動期に入っていると言われ、中国（2009年3月）、ニュージーランド（2011年2月）、東日本（2011年3月）、ネパール（2015年4月）、エクアドル（2016年4月）等々、数年前から世界各地で大地震が発生し、大きな被害をもたらしています。

また地球温暖化による異常気象とされる巨大台風（ハリケーン、サイクロン）や大旱魃など自然災害は世界各地で頻発しています。そしてこれら被災者の9割はアジアに集中しています。被災した人々への救援・救助・復興への支援、協力が国の内外を問わず求められています。また、エイズをはじめとする感染症、水や食料に影響する環境汚染問題もなお解決されず、深刻です。

日本AALAが昨年からは開始した東アジア首脳会議（EAS）に届ける署名「戦争するな！どの国も 東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に」は、こんにちの国際的課題にかなう重要な活動です。

この署名内容の第1は、今回の地震のような自然災害や感染症予防、環境汚染問題など、国や国民同士の助け合いと協力をすすめ、信頼関係をつくること。

第2と第3で、紛争が起きても武力による威嚇や武力の行使はせず、内政不干渉を貫き、徹底して話し合い、平和のルールをつくること。そのために「東アジア友好・協力条約」の制定をめざしています。

署名は日本全体で10万筆を目標にして集め、今年の東アジア首脳会議の議長国・ラオスに直接届ける予定にしています。

熊本地震被災者救援に取り組み、戦争法（安全保障関連法）の廃止をめざすとともに、この国際署名を成功させ、AALAのめざす非核・非同盟・平和・友好・連帯の輪を大きく広げましょう。

以上、決議します。

2016年5月28日

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 第54回定期総会